

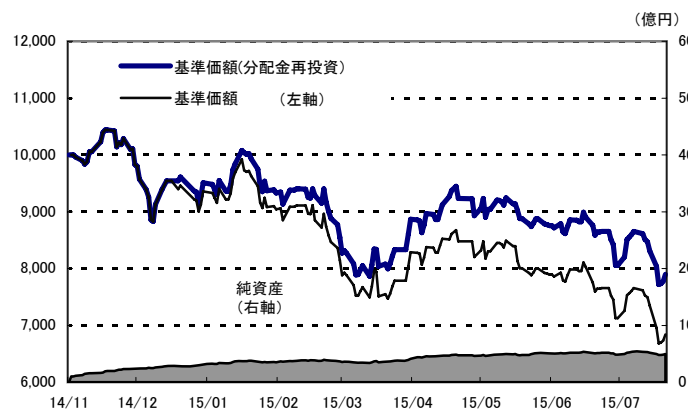


運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 6,842 円

※分配金控除後

純資産総額 4.9 億円

- 信託設定日 2014年11月12日
- 信託期間 2024年7月29日まで
- 決算日 原則、毎月27日 (同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1カ月	-8.0%
3カ月	-16.4%
6カ月	-20.4%
1年	-
3年	-

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 -21.0%

分配金(1万円当たり、課税前)の推移

2015年7月	150 円
2015年6月	150 円
2015年5月	150 円
2015年4月	150 円
2015年3月	150 円

設定来累計 1,200 円

設定来= 2014年11月12日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。 ※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

ノムラ・マネージド・マスター・トラスト・グローバル・エマージング・マーケット・ハイ・ディビデンド・ストック・プレミアム-BRLクラスの資産内容と組入上位10銘柄

資産内容

2015年7月31日 現在

国・地域別配分		業種別配分		通貨別配分(為替取引※前)	
国・地域	純資産比	業種	純資産比	通貨	純資産比
中国	21.3%	金融	32.5%	香港ドル	24.8%
台湾	11.3%	電気通信サービス	13.0%	米ドル	15.6%
ブラジル	10.0%	情報技術	11.7%	台湾ドル	11.5%
南アフリカ	9.7%	資本財・サービス	10.1%	ブラジルリアル	10.0%
ロシア	8.4%	素材	8.5%	南アフリカランド	9.7%
その他の国・地域	34.0%	その他の業種	18.9%	その他の通貨	28.5%
その他の資産	5.3%	その他の資産	5.3%	合計	100.0%
合計	100.0%	合計	100.0%	米ドル売りブラジルリアル 買い為替取引比率	99.3%

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。

※実質的な通貨配分にかかわらず、原則としてファンドの純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドルを売り、ブラジルリアルを買う為替取引を行いません。

組入上位10銘柄

2015年7月31日 現在

銘柄	国・地域	業種	純資産比	予想配当利回り(課税前)
CHINA MOBILE LTD	中国	電気通信サービス	3.5%	2.9%
IND & COMM BK OF CHINA-H	中国	金融	2.7%	6.0%
CHINA CONSTRUCTION BANK-H	中国	金融	2.6%	6.1%
BANK OF CHINA LTD-H	中国	金融	2.3%	5.7%
JIANGSU EXPRESSWAY CO LTD-H	中国	資本財・サービス	2.3%	5.3%
KOMERCNI BANKA AS	チェコ	金融	2.1%	5.7%
SUL AMERICA SA - UNITS	ブラジル	金融	2.0%	3.5%
DONGBU INSURANCE CO LTD	韓国	金融	1.9%	2.9%
DELTA ELECTRONIC INDUSTRIAL CO LTD	台湾	情報技術	1.9%	3.9%
FIBRA UNO ADMINISTRACION SA	メキシコ	金融	1.9%	5.3%
合計			23.3%	

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。

・予想配当利回り(課税前)は、為替取引前の数値です。(ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成)

組入銘柄数 : 68 銘柄

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



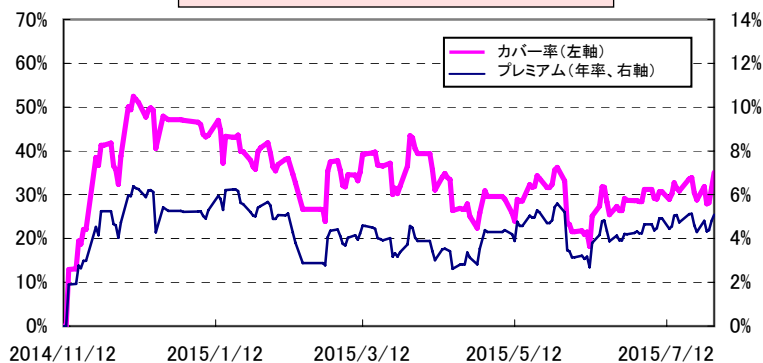
ノムラ・マネジド・マスター・トラスト・グローバル・エマージング・マーケット・ハイ・ディビデンド・ストック・プレミアム - BRLクラスの資産内容

2015年7月31日 現在

ポートフォリオ特性値	
組入比率	94.7%
カバー率	35.1%
平均行使価格	107.9%
平均行使期間	21.0日
配当利回り (年率、為替取引※前ベース)	4.6%
プレミアム(年率)	5.1%

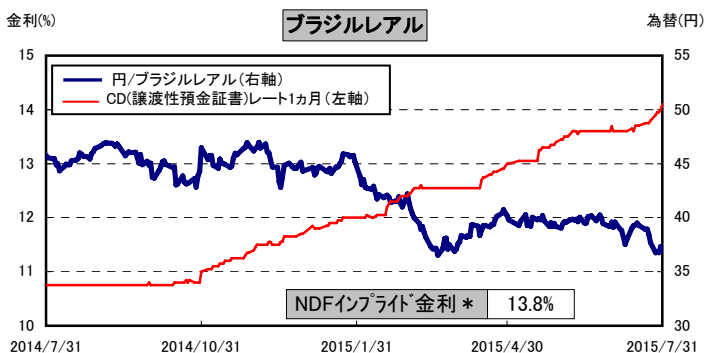
- ・上記のポートフォリオ特性値(カバー率、平均行使価格等)は、ファンドの組入銘柄の各特性値を、その組入比率で加重平均したものです。
- ・カバー率: 純資産に対するオプションのポジション
- ・平均行使価格: 原資産価格(株価)に対する平均権利行使価格
- ・平均行使期間: 権利行使日までの平均日数
- ・配当利回り: 組入銘柄の配当予想を、加重平均して算出(ブルームバークのデータに基づき野村アセットマネジメント作成)
- ※原則としてファンドの純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドルを売り、ブラジルリアルを買う為替取引を行います。
- ・プレミアム(年率): 純資産に対する年率調整後のプレミアム収入

カバー率とプレミアム(年率)の推移



(ご参考)ブラジルリアルの為替レートおよび短期金利(日次)

2015年7月31日 現在

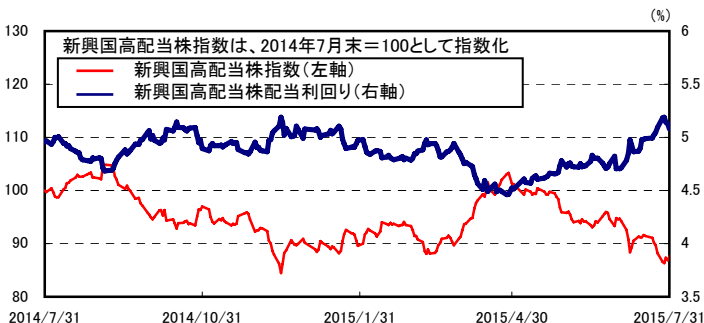


- ・出所: ブルームバークのデータに基づき野村アセットマネジメント作成
- ・左記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。

*** NDFインプライド金利は、日々の変動が大きいので20日移動平均を使用しています。また、当資料で用いられているNDFインプライド金利はブルームバークが集計・公表している数値であり、ファンドにおける実際のNDFインプライド金利とは異なる場合があります。NDFについては3ページをご参照ください。**

(ご参考)新興国高配当株指数と配当利回り(日次)

2015年7月31日 現在



- ・出所: ブルームバークのデータに基づき野村アセットマネジメント作成
- ・新興国高配当株: MSCIエマージング・マーケット・ハイディビデンド・イールド・インデックス(配当込み、米ドルベース)
- ・上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。
- ・MSCIエマージング・マーケット・ハイディビデンド・イールド・インデックス(配当込み、米ドルベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



NDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引について

為替予約取引とNDF取引

為替取引は、主に「為替予約取引」を用います。
しかし、中国元、ブラジルリアル、インドルピー、インドネシアルピアなど、一部の新興国通貨では内外の資金流出入を抑止する当局の規制などを背景とし、機動的に「為替予約取引」ができません。



そこで、**NDF取引**を活用します。

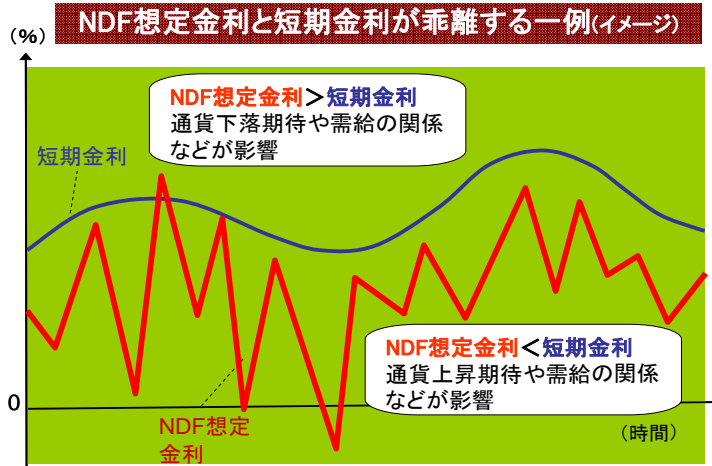
NDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引とは

- ◆ 為替先渡取引の一種で、主に金融機関との相対で取引
- ◆ 当該通貨の受け渡しが発生せず、主に米ドルなど主要通貨で差金決済
- ◆ NDF取引を用いた為替取引では、通常の為替予約取引と比べ、為替市場、金利市場の影響により、NDFの取引価格から想定される金利(NDFインプライド金利)が、取引時点における当該通貨の短期金利水準から、大きく乖離する場合があります。



◎NDFの取引価格から想定される金利(NDFインプライド金利)は、通貨に対する需給や通貨の上昇期待が反映され、マイナスになる程低くなる場合もあります。その場合、為替取引によるプレミアムの減少やコストの発生により、ファンドのパフォーマンスに影響を与えることがあります。

乖離の背景は、各種規制で金融市場の自由度が高くないことから、割高や割安を是正する市場のメカニズムが十分に機能しないことなどが挙げられます。



(注) 上記は、イメージであり、すべての事象があてはまるとは限りません。
また、将来の水準を予測、または示唆するものではありません。

上記の要因以外でも、米ドルの短期金利が上昇した場合は、為替取引によるプレミアムが減少したり、コストが生じる可能性があります。
(出所) 各種情報に基づき野村アセットマネジメント作成

(注) 上記は、NDF取引や為替市場に関する説明の一部であり、NDF取引および為替市場についてすべてを網羅したものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様にご帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



先月の投資環境

○ 先月の新興国株式市場は、多くの国で下げ足を速める展開となりました。中国では、株価急落を受けて中国政府が株価の下支え策を表明したものの、多くの銘柄が取引停止になるなど先行きの不透明感を完全に払拭するまでには至らず、株式市場は下落しました。人民元建てA株市場の動揺が続いており、香港市場で取引されている中国株には引き続き売り圧力が残りました。ブラジルでは、現職大統領の支持率低下による政治的混迷が警戒されたことや、ブラジル政府が基礎的財政収支の黒字目標を引き下げたこと、大手格付会社がブラジル国債の格付け見直しを引き下げたことなどから、株式市場は大幅な下落となりました。トルコでは、総選挙後の政権発足に時間がかかっていることが嫌気され、株式市場は下落しました。その他の多くの新興国市場でも、通貨、株式市場共に調整が進みました。原油価格や銅、金などの市況が再び下落に転じており、これらを産出する南アフリカやロシアなどの経済にとって逆風となりました。韓国や台湾では、スマートフォンや半導体需要の伸び悩みのためテクノロジー分野で企業業績の下方修正への不安が高まったことが、株式市場の調整を引き起こしました。

○ ブラジルリアル・円市場では、月の前半は、中国政府による株価の下支え策やギリシャの債務問題を巡る世界経済の混乱からブラジルリアル・円市場が一時乱高下しました。月の後半は、ブラジル政府が基礎的財政収支の黒字目標を引き下げたことや、大手格付会社がブラジル国債の格付け見直しを引き下げたことなどが嫌気され、大幅なブラジルリアル安・円高となりました。月間ではブラジルリアル安・円高となりました。米ドル・円市場も同様に、月の前半は世界経済の混乱から米ドル・円市場が乱高下するなか、FRB(米連邦準備制度理事会)のイエレン議長が年内の利上げを改めて示唆したことなどが好感され、小幅な米ドル高・円安となりました。月の後半は、世界経済の混乱が収束したことなどから米ドル・円市場は方向感なく横ばい圏で推移しました。月間では米ドル高・円安となりました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○ 円に対してブラジルリアルが下落したことなどから、基準価額(分配金再投資)は下落しました。ファンドが投資対象とする外国投資信託の株式組入比率は、7月末現在で94.7%となりました。

○ 株式投資にあたっては、配当利回りなどの定量的な評価による割安性をベースに、配当の安定性・成長性など個別企業のビジネスモデルの定性評価を考慮して銘柄選択を行ないました。そのうえで、地域、業種別配分などの観点から分散されたポートフォリオを構築しました。ポートフォリオ全体の7月末現在の予想平均配当利回りは4.6%となっています。(予想平均配当利回りはブルームバーグのデータなどを基に弊社が作成したものです。また税金などを考慮していません。)

○ 『株式プレミアム戦略』に則り、現物株の買い付けとともにコール・オプションの売却を行ない、プレミアム収入の確保を図りました。この結果、7月末現在で、ファンドが投資対象とする外国投資信託で保有するオプションの平均行使価格は107.9%、プレミアム(年率)は5.1%となりました。

○ 米ドル売りブラジルリアル買いの為替取引比率は、高位を維持しました。

今後の運用方針 (2015年7月31日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○ 多くの新興国では、景気が減速する中での経済構造改革を迫られています。経済構造改革には、財政の建て直しなどの緊縮財政政策も含むため、経済構造改革への取り組みが短期的な景気の下振れへとつながりかねず、多くの新興国で困難な経済政策運営を余儀なくされています。新興国株式市場が軟調に推移する中、足元の経済指標の強弱や政治動向などに投資家心理が敏感に反応するようになっており、新興国株式市場の変動幅を一層大きくしていると思われる。但し、短期的な困難を伴うものの、経済構造改革への取り組みを進めることが投資家の信頼を高めるために重要であり、中・長期的な新興国株式市場の再評価をもたらす鍵を握ると考えています。このような変換期に差し掛かっている新興国を巡る投資環境において、個別銘柄の投資機会の発掘にあたっては、独自の成長要因を持つ、あるいは配当を含めた株主還元への姿勢が評価できる、配当利回りを含めた投資指標に非常に割安感が強い、などの点に注目して、中・長期的な観点から個別企業の分析及び評価を行ないます。

○ 新規売却するオプションについては、個別銘柄の株価見直しやボラティリティ(価格変動性)に基づき、行使価格やカバー率を設定する方針です。ボラティリティが大きく、株価の更なる上昇が見込まれる銘柄は、行使価格を高めてまいります。また、オプションの価格が割安であると判断した場合には、カバー率を低めに抑える、あるいは新規売却を控えるなどの対応を行ないます。新規売却時の行使期間は1-3ヵ月程度とし、銘柄間で特定の行使期間に偏らないよう分散させる方針です。

○ 為替取引については、ブラジルリアルへの投資効果を追求することを目的として、純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドルを売り、ブラジルリアルを買う取引を行ないます。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。



ファンドの特色

- 高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。
 - 新興国の高配当利回り株式等(DR(預託証券)*1、優先株を含みます。)を実質的な主要投資対象*2とします。
加えて、保有する銘柄にかかるコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入*3の獲得を目指す「株式プレミアム戦略」を実質的に活用します。
- ※1 Depository Receipt(預託証券)の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。
- ※2 「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- ※3 オプションを売った対価として受取る権利料のことを指します。

＜一般的なコール・オプションとは＞

- ・コール・オプションとは、ある特定の商品(株式など)を将来のある期日(満期日など)に、あらかじめ決められた特定の価格(＝権利行使価格)で買う権利を売買する取引のことです。
- ・取引開始日に、コール・オプションの買い手は、その対価として、コール・オプションの売り手にプレミアム(権利料)を支払います。
- ・買い手は満期日に権利を行使して、当該商品を権利行使価格で手に入れることができます。一方、売り手はこの権利行使に応じる必要があります。商品の受渡しによる決済のほか、現金による決済もあります。
- ・株価水準や株価変動率が上昇すること等が、コール・オプションの評価値の上昇要因となります。なお、コール・オプションの売却を行なう場合には、コール・オプションの評価値の上昇は、損失を被る要因となります。
- ※上記は、コール・オプションの全てを説明したものではありません。また、当てはまらない場合もあります。

- 円建ての外国投資信託「ノムラ・マネージド・マスター・トラスト・グローバル・エマージング・マーケット・ハイ・ディビデンド・ストック・プレミアム－BRLクラス」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」に投資します。
◆ 投資する外国投資信託においては、実質的な通貨配分にかかわらず、原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドルを売り、ブラジルリアルを買う為替取引を行ないます。
- 通常の状況においては、「ノムラ・マネージド・マスター・トラスト・グローバル・エマージング・マーケット・ハイ・ディビデンド・ストック・プレミアム－BRLクラス」への投資を中心とします*が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。
※通常の状況においては、「ノムラ・マネージド・マスター・トラスト・グローバル・エマージング・マーケット・ハイ・ディビデンド・ストック・プレミアム－BRLクラス」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

■外国投資信託「ノムラ・マネージド・マスター・トラスト・グローバル・エマージング・マーケット・ハイ・ディビデンド・ストック・プレミアム－BRL クラス」の主な投資方針について■

- ◆ 新興国の高配当利回り株式等(DR(預託証券)、優先株を含みます。)を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行なうことを基本とします。
 - ◆ 新興国の高配当利回り株式等への投資に加えて、「株式プレミアム戦略」を活用し、さらなる収益の獲得を目指します。「株式プレミアム戦略」とは、保有する銘柄にかかるコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得を目指す戦略をいいます。
 - ・各コール・オプションの売却等は、市場環境等を考慮し、それぞれ異なるタイミングで行ないます。
 - ・保有銘柄の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することを基本とします。この場合、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却します。
 - ・同一の銘柄に対し条件の異なる複数のコール・オプションを売却する場合があります。
 - ・各コール・オプションの満期時において、再度コール・オプションを売却する場合があります。この場合、コール・オプション条件は異なる可能性があります。
 - ・ファンドでは、原則として、権利行使が満期日のみに限定されているオプションを利用することを基本とします。
- ※株式等の価格の上昇/下落にかかわらずオプションのプレミアム収入を獲得することができます。一方で、株式等の価格が権利行使価格を超えて値上がりした局面では、株式等の価格の上昇による収益の一部を享受できない場合があります。

- ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- 分配の方針

原則、毎月27日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、配当等収益等を中心に分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。なお、市況動向や基準価額水準等によっては、分配金額が大きく変動する場合があります。

* 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



投資リスク

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、株式等に実質的に投資し、加えてオプション取引を活用しますので、当該株式等の価格下落や、当該株式等の発行会社の倒産や財務状況の悪化およびオプション価値の変動等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。 ※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、債券価格変動リスクなどがあります。 ※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込みメモ】

- 信託期間 平成36年7月29日まで(平成26年11月12日設定)
- 決算日および収益分配 年12回の決算時(原則、毎月27日。休業日の場合は翌営業日)に、分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 一般コース:1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円) または1万円以上1円単位
自動引きぞく投資コース:1万円以上1円単位
※お取扱コース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が下記のいずれかの休業日に該当する場合または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金の各お申込みができません。
・ニューヨーク証券取引所 ・ニューヨークの銀行
・ロンドン証券取引所 ・ロンドンの銀行
・香港取引決済所 ・ルクセンブルグの銀行
・サンパウロ証券取引所 ・サンパウロの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.78%(税抜3.5%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.1664%(税抜年1.08%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率(注) 年1.6664%程度(税込) (注)ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
◆その他の費用・手数料	組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、ファンドに関する租税、監査費用等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時~午後5時

★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社> 野村アセットマネジメント株式会社
[ファンドの運用の指図を行なう者]

<受託会社> 野村信託銀行株式会社
[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みメモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

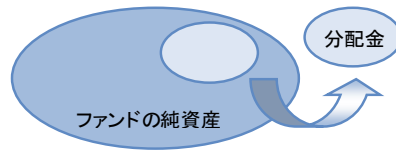
◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



分配金に関する留意点

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



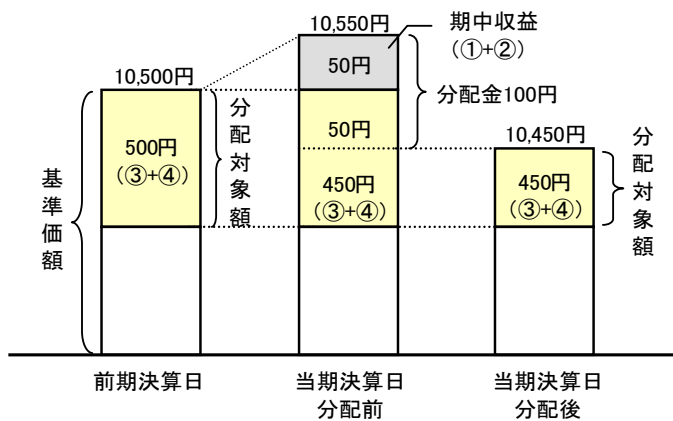
●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

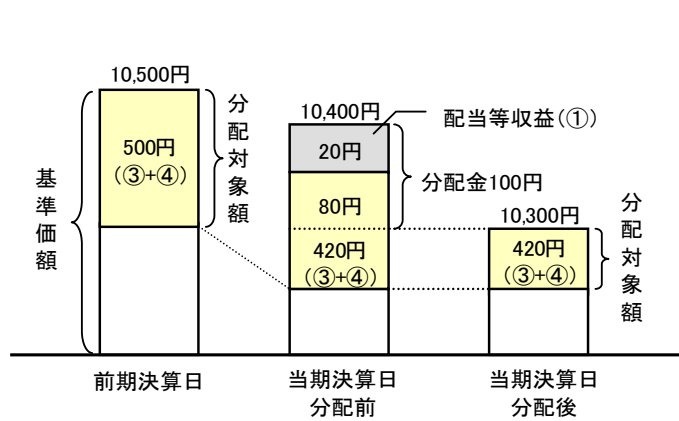
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合

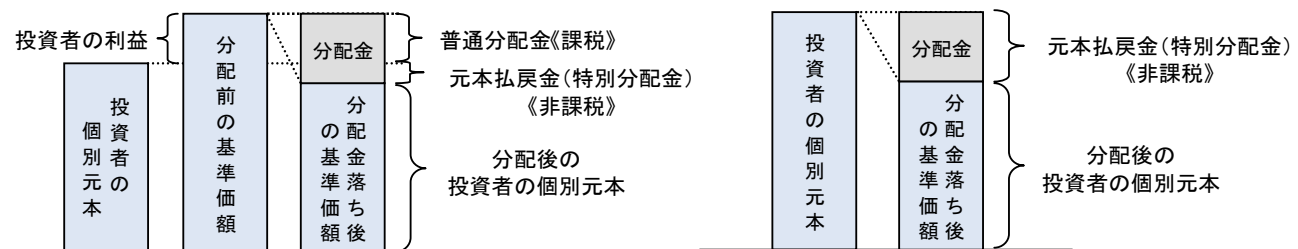


前期決算から基準価額が下落した場合



●投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

- ◇普通分配金・・・分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金・・・分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となります。



※投資者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。